

会員の皆様にお聞きしました

新南陽の景況感

調査概要

- 調査対象期間** 2021年4月～6月（現状）における景況感と、2021年7月～9月（今後）における景況見通し
- 調査対象** 新南陽地域の企業87社
- 調査方法** 商工会議所経営指導員等職員の巡回相談時に調査票回収
- 調査項目** 「業況」、「売上高」、「採算」、「仕入単価」、「従業員」、「設備」、「資金繰り」

産業全体

若干の緩和は見られるものの、業況D-Iが悪化する業種がある、先行き見通しはプラスに転じる業種は無く慎重な見方が続く。

新南陽地域の2021年4月～6月期の業況D-Iの全産業合計値は▲48.7%となり、前期調査（1月～3月期）よりもマイナス幅が20.5ポイント縮小した。全国では「第164回中小企業景況調査（中小企業基盤整備機構）」の全産業の業況D-Iもマイナス幅が縮小している。新南陽地域の今後3カ月の先行き見通しは、全産業合計値でマイナス幅が拡大する見通しとなっており、全国的には、相次ぐ食料品の値上

げや鉄鋼などの原材料費上昇によるコスト増加が小売業・卸売業などを中心に幅広い業種で業況の押し下げ要因となっており、中小企業の景況感には鈍さが見られる。（商工会議所LBO調査6月）

【卸・小売業】
業況D-I、売上高D-I、従業員D-Iが前回の調査に比べてマイナス幅が縮小している。その他の項目に変化は無く、採算D-I、仕入単価D-I、資金繰りD-Iは依然として、▲100%（全事業者が悪化と回答）とされている。今後3カ月の先行き見通しで、採算D-Iがプラスに転じる唯一の業種となる。

【製造業】
新たな支援施策を要望する声有。業況D-I、採算D-I、仕入単価D-I、資金繰りD-Iは前回の調査に比べてマイナス幅が拡大している。従業員D-I、設備D-Iは前回と同じで100%（全事業者が不足と回答）。

【建設業】
今後3カ月の先行き見通しは、業況D-I、売上高D-I、採算D-Iのマイナス幅が拡大している。業況悪化の状況に仕入単価の上昇で最悪との報告有。

【サービス業】
売上高D-I、採算D-I、仕入単価

D-Iは前回の調査に比べてマイナス幅が縮小している。マイナス幅が拡大した項目はない。今後3カ月の先行き見通しでは、業況D-I、売上高D-I、採算D-Iのマイナス幅が拡大している。

【飲食・宿泊業】
業況D-I、売上高D-I、採算D-I、資金繰りD-Iは▲100%（全事業者が悪化と回答）されている。新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底+PRと巣ごもり需要等で店販品の購入率が上がったと報告有。

【運輸業】
設備D-I以外は全ての項目で▲100%（全事業者が悪化と回答）されている。今後3カ月の先行き見通しも、設備D-I以外は全ての項目で▲100%（全事業者が悪化と回答）されている。感染拡大防止集中対策で客足が途絶えた。遠出を控えた近隣顧客が多い等の報告有。

【保険業】
業況D-I、売上高D-I、採算D-I、資金繰りD-Iが前回の調査に比べてマイナス幅が拡大している。仕入単価D-Iは▲100%（全事業者が悪化と回答）されている。従業員D-I、設備D-Iは100%（全事業者が不足と回答）。

監修・分析/マサエンジニアリング代表 中小企業診断士 佐伯 昌之 氏

DI（景気判断指数）値とは？

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率をしめすものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりや意味する。
DI = (増加・好転などの回答の割合) - (減少・悪化などの回答割合)

	全体		卸・小売業		製造業		サービス業		飲食・宿泊業		建設業		運輸業		保険業	
	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し
業況	-48.7	-64.7	-25.0	0.0	-40.0	-75.0	-33.3	-100.0	-100.0	-100.0	-60.0	-66.7	-60.0	-50.0	100.0	0.0
売上高	-42.2	-70.7	-25.0	0.0	-40.0	-75.0	-33.3	-100.0	-100.0	-100.0	-66.7	-77.8	-14.3	-50.0	100.0	0.0
採算	-48.6	-66.7	-100.0	33.3	-25.0	-71.4	-20.0	-100.0	-100.0	-100.0	-66.7	-75.0	0.0	-100.0	100.0	0.0
仕入単価	-93.8	-82.4	-100.0	-60.0	-100.0	-100.0	-50.0	-50.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	0.0	0.0
従業員	86.2	84.6	100.0	-100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-100.0	-100.0	100.0	100.0	80.0	100.0	100.0	100.0
設備	71.4	57.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	33.3	100.0	100.0	-100.0	-100.0	0.0	0.0
資金繰り	-90.5	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-33.3	-100.0	-100.0	-100.0	0.0	0.0

※前年比…2021年4月～6月と前年同月の比 見通し…今後3ヶ月（2021年7月～9月）の見通し

会員の声

【卸・小売業】

- ◆新たな支援金、補助金他、支援政策等早急に実行してほしいです。
- ◆状況として、4月は改善の兆しが見えたが、5月、6月は再び悪化している。
- ◆前年同期間は全国緊急事態宣言が発出され休館、時短営業となったこともあり、前年との比較では売上高は増加しているものの通年と比べると低水準で推移している。今後3ヶ月についても横ばいで推移するものと思われるが10～11月にはワクチン接種も進み、正常な経済活動に近づき業況は好転してくると期待している。

【製造業】

- ◆前年と比べ、物件数の減少、又、3月～6月でメーカーの大幅値上げもあり、先行き不透明感が強い。
- ◆新型コロナウイルス感染症により景気が悪化している。又、反面仕入単価が上昇して最悪な状況。事業再構築補助金などの各種支援を望む。
- ◆働き方改革をしていきたい。

【サービス業】

- ◆ありきたりですが、コロナの終息が見えないと精神的に限界が来ています。
- ◆新型コロナウイルス感染症感染予防対策の徹底+PRと巣ごもり需要等で店販品の購入率が上がったので前年よりは増加傾向にあると思う。
- ◆働き方改革（育児休暇、介護休暇等）その他の休暇について。売上げ、利益、資金等は年々少しずつ下がると思われる。

【飲食・宿泊業】

- ◆3、4月は客足があったが、5月から平日はほとんど客がなく、9時には店を閉めている。
- ◆特に夜の来店者数が減ったままで動かない。ワクチン接種がすすみ日常がもどることを希望する。
- ◆新型コロナウイルス感染症の影響によって遠出せず、近場で動かれている方が多い印象。当店では、イートイン利用よりテイクアウトして散歩される方やご自宅用にコーヒードリンクを購入される方が多いです。

【建設業】

- ◆物品等の納品が遅れ、決まっていた仕事が先伸ばしになったりがある。
- ◆コロナの影響で、先行が見通せません。
- ◆建築業ですが、人手不足で困っております。募集はしておりますが雇用することが不可能です。

【運輸業】

- ◆前期と比較して荷動きは良くなっているが先行きは見通せない状況。依然として人手不足が続いている。
- ◆前期に引き続き船員の求職者が少なく採用活動に苦慮。
- ◆依然として、新型コロナウイルス感染症の影響で、営業活動には支障はあるものの、主要荷主の荷動きは回復してきており、今後さらに好転していくものと考えている。これからはウイズコロナ時代における営業拡大や内部統制強化への新しい取組について感染予防対策を緩めることなく、準備を進めていかなければならない。

【保険業】

- ◆コロナ対策の為に対面募集を減らす様に保険会社から通達があるが、あえて、逆に対面を行っている。実際に面談する方が、細かい部分も意思疎通ができ、有益だと思ふ。但し、マスク等の感染予防を充分にする必要性を感じている。

今後3カ月の先行き見通しは、マイナス幅が縮小している項目は無く、業況D-I、売上高D-I、採算D-I、資金繰りD-Iはさらにマイナス幅が拡大すると回答されている。人手不足や先行き見通しが読めないとの報告有。

【運輸業】
売上高D-I、採算D-Iは、前回の調査に比べてマイナス幅が縮小している。

今後3カ月の先行き見通しは、売上高D-I、採算D-Iでマイナス幅が拡大。従業員D-Iは100%（全事業者が不足と回答）。採算D-I、仕入単価D-I、設備D-I、資金繰りD-Iは▲100%（全事業者が悪化と回答）されている。人手不足、働き方改革、ウイズコロナ対応を課題に挙げている報告有。

【保険業】
業況D-I、売上高D-I、採算D-I、

従業員D-Iは100%（全事業者が良いと回答）されている。その他の項目は全て0%（良い、悪いの回答が同数）。

今後3カ月の先行き見通しは、業況D-I、売上高D-I、採算D-Iが100%から0%に変化している。感染予防対策を行い、対面対応を行っているとの報告有。